

Express5800/T110k-S, T110k, T110kバリューモデル ご使用時の注意事項

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用において、ご注意くださいことがございます。
誠に恐れ入りますが、ご使用前に下記内容を必ずご一読いただきますようお願いいたします。
なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

■ 本製品のユーザーズガイド、メンテナンスガイド、インストレーションガイド、BMC管理コンソールユーザーズガイドについて

本製品のユーザーズガイド、メンテナンスガイド、インストレーションガイド、BMC 管理コンソールユーザーズガイドはEXPRESSBUILDER内に格納されていますが、最新版は下記に掲載されておりますのでご参照ください。

<https://www.support.nec.co.jp/TopHWGuidanceContents.aspx>

→「ハードウェア」の「型番・モデル名から探す」を選択

→モデル名（T110k-SまたはT110k）を記入し「モデル名で検索」を選択

→検索結果からモデル名を選択

→「製品マニュアル」を選択

→該当モデルのユーザーズガイドを選択

■ 低温環境での運用について

本製品には、環境温度の低温異常を検出した際に、ESMPRO/ServerAgentServiceがOSを自動的にシャットダウンする機能があります。

OSのプリインストール構成で出荷された場合、本機能は無効化されていますが、以下操作により意図せず有効化される場合があります。

1. EXPRESSBUILDERを用いてWindowsおよびESMPRO/ServerAgentServiceをインストールした場合。
2. Webに公開されている最新版のWindows向けESMPRO/ServerAgentServiceをインストール/アップデートインストールした場合。

低温異常を検出した際に自動的にシャットダウンを行う必要がない場合、以下URLに公開されている設定変更パッチを適用してください

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107685>

■ BMC設定の初期化について

- ・ オフラインツールメニューの[BMC] - [Configuration Initialization]でBMC設定を初期化する場合は、初期化した後、他の設定は行わず、オフラインツールを終了してください。オフラインツールを終了することでシステムが再起動されます。システム再起動後にオフラインツールを起動しBMC設定内容を再設定してください。
- ・ BMC管理コンソールの[ユーティリティ] - [工場出荷時の設定]でBMC設定を初期化する場合は、初期化した後、システムを再起動してください。システム再起動後にオフラインツールを起動しBMC設定内容を再設定してください。

■ BMC管理コンソールのシステムイベントログ表示について

[OEM record dX: Manufacturer ID 000137] (Xはc/d/eのいずれか)と表示されているイベントはWindows OSが起動時、シャットダウン時に登録します。正常な動作を示すイベントであり、対処は必要ありません。



CBZ-050461-001-19

■ BMC管理コンソールで表示される電圧値について

本製品がアイドル状態の時、BMC管理コンソールのセンサのP_VCC_CPUとP_VCC_VCCSAの表示が0になる場合がありますが、正常な値です。

■ BMCネットワーク設定変更時について

Server Configuration Utility (Window/Linux/オフラインツール)、BMC管理コンソールでネットワーク設定を変更する場合は設定変更後に必ずBMCリセットを実施してください。BMCリセット完了後は装置の電源をOFFにして、30秒以上経過してから電源をONにしてください。

■ BIOS SETUPバックアップ用リムーバブルメディアのご使用について

オフラインツール、BIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツールで使用するリムーバブルメディアはFAT32でフォーマットして使用してください。

FAT32でフォーマットされていない場合、ツールからリムーバブルメディアを認識できず、データの保存、リストア等を行うことができません。

■ BMCバックアップリストアについて

BIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツール利用の際には、バックアップ時にオフラインツールの[Server Configuration Utility] - [ECO] - [Configuration] メニューの [Aggressive Mode] と [Non-Aggressive Mode] の設定を個別に記録してください。リストア時にこれらの設定が強制的に Enableとなるため、必要に応じてオフラインツールにて記録しておいた設定に戻してください。(EXPRESSBUILDER Ver7.10-021.03以前に対応した装置での制限となります)

■ BIOS SETUPのMaximum Memory Frequency機能について

メンテナンスガイドのBIOS SETUPにMaximum Memory Frequencyの設定項目の記載がありますが、メモリ(DIMM)を4枚構成で運用時にMaximum Memory Frequencyを2666に設定するとPOSTが終わらない可能性があるため、この設定を2666に変更しないでください。

Maximum Memory Frequencyを2666に設定してしまいPOSTが5分以上経過しても終わらない場合、搭載しているDIMMの枚数を減らして起動した後、Maximum Memory Frequencyを出荷時の設定値に戻してください。

■ 標準搭載のLAN1、LAN2のMACアドレスの確認方法について

標準搭載のLAN1、LAN2のMACアドレスの確認は、BIOS SETUPの[Server Mgmt]メニューの [View FRU Information] で表示される Onboard LAN1 MAC、Onboard LAN2 MAC を参照してください。

■ Linuxでの標準搭載のLAN1、LAN2の割り当てについて

LinuxではOS上で表示されるeth0がLAN2コネクタ、eth1がLAN1コネクタに割り当てられます。

■ 仮想リムーバブルディスクのドライブレターの変更について

[ディスクの管理] 画面で仮想リムーバブルディスクのドライブ文字を変更しようとする時、"ドライブ文字とパスの変更" がグレーアウトして選択できない場合があります。

このような場合は、以下の手順でドライブ文字を変更できます。

1. 管理者権限でコマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のコマンドを実行し、DiskPart を開始します。
diskpart
3. 以下のコマンドを実行し、ボリュームの一覧を表示して、ドライブ文字を変更するボリュームのボリューム番号を確認します。
list volume
4. 以下のコマンドを実行し、ドライブ文字を変更するボリュームを選択します。
select volume=n
※n: ドライブ文字を変更するボリュームのボリューム番号
5. 以下のコマンドを実行し、選択したボリュームにドライブ文字を割り当てます。
assign letter=l ※l: ボリュームに割り当てるドライブ文字
6. 以下のコマンドを実行し、DiskPart を終了します。
Exit

■ デバイスマネージャの表示について

デバイスマネージャの[ほかのデバイス]配下に[！マーク付の基本システムデバイス](Device ID : PCI\VEN_8086&DEV_4C11)が表示される場合がありますが、当該デバイスは本製品では使用しないデバイスですので、運用に問題ありません。

■ サーバ診断カルテのインストール方法の制限について

本装置では、サーバ診断カルテは「各種アプリケーション」からのインストールは実施できません。「統合インストール」からインストールを実施してください。
(EXPRESSBUILDER Ver7.10-021.03以前での制限となります)

■ 最新の装置情報収集ユーティリティの入手方法について

障害解析に必要な情報を採取できるようにするために、装置情報収集ユーティリティを最新版へアップデートしてください。装置情報収集ユーティリティは、障害発生時にOS上からシステムイベントログ(SEL)などを採取するツールであり、障害解析に必要です。最新版へアップデートしない場合は障害発生時に必要な情報が採取できない場合があります。

[装置情報収集ユーティリティの最新バージョンおよび、ダウンロード先]

<https://www.support.nec.co.jp/GuidanceCategoryProductSearch.aspx>

その他 > 装置情報収集ユーティリティ

■ N8117-01A 増設RS-232C コネクタキットご使用時の注意

N8117-01A 増設RS-232C コネクタキットを使用して、シリアルポート1/2 (COM1/2)のそれぞれにデバイスを接続してご使用になる場合は、動作を十分に検証してご使用ください。

■ Windows Server 2022 の LAN ドライバーのインストールについて

EXPRESSBUILDER Version 7.10-021.03 以降をご利用の場合、Starter Pack を適用することで LAN ドライバーがインストールされます。

インストレーションガイド(Windows編) の手順を行う必要はありません。

■ BIOS SETUPのDMA Protectionメニューについて

BIOSバージョンF14以降では、BIOS SETUPの[Chipset] - [System Agent(SA) Configuration] - DMA Protectionメニューを追加し、カーネル DMA 保護機能を"Enabled(有効)"、または"Disabled(無効)" に設定できるようにしました。

「カーネルDMA保護機能」については以下をご参照ください。

<<https://learn.microsoft.com/en-us/windows/security/information-protection/kernel-dma-protection-for-thunderbolt>>

・本設定は"Enabled" (default設定) のままでご使用ください。BIOS F14以降で、OSを新たにインストールする場合は、本設定が"Enable"であることを確認してからインストールを行ってください。

・Windows Server 2019で運用される場合、下記のMicrosoftの情報に記載されている問題が発生する可能性があります。該当する問題が発生した場合は、本設定を"Disabled"に変更してください。

<<https://learn.microsoft.com/en-us/troubleshoot/windows-server/performance/stop-code-driver-verifier-dma-violation>>

■ Redfishのサポートについて

BMCファームウェア リビジョン02.04よりRedfishをサポートします。ESMPRO/ServerManagerが本機能を使ってBMCを管理するためには、BMCの設定と、ESMPRO/ServerManager Ver6.62以降あるいはESMPRO/ServerManager Ver.7.17以降での運用が必要です。

[BMCの設定方法]

- 1) BMC管理コンソールへログインします。
- 2) ブラウザ左部のBMCメニュー内の設定を選択します。
- 3) ブラウザ中央の設定項目のRedfishインターフェースを選択します。
- 4) Redfishインターフェースの設定にてRedfish項目にチェックを入れ、設定を保存します。

[最新のESMPRO/ServerManagerの入手方法]

以下のNECサポートポータルサイトからダウンロードしてください。

- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.6 (Ver.6.62以降)
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010103524>
- ・ ESMPRO/ServerManager Ver.7 (Ver.7.17以降)
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110069>

インストール後、ESMPRO/ServerManager セットアップガイドを参照して必要な設定を行ってください。なお、Redfishを使用したBMCの管理にあたってBMCのIPMI over LANを無効する場合、ESMPRO/ServerManagerのリモートコンソール機能およびコンソールログ設定は使用できません。

■ Windows Server 2022 のプリインストールモデルについて

Windows Server 2022 の「プリインストールモデル」には次のソフトウェアもプリインストールされています。

ー サーバ診断カルテサービス

(EXPRESSBUILDER Ver7.10-021.04以降の製品に対応しています)

■ EXPRESSBUILDER 7.10-021.04に格納されているESMPRO/ServerManagerのインストールについて

EXPRESSBUILDER 7.10-021.04では、ESMPRO/ServerManagerのインストールができません。インストールは以下のリンクに記載されている手順に従ってください。

[<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109764>](https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109764)

EXPRESSBUILDERのバージョンは以下の手順で確認できます。

本機にインストールされているEXPRESSBUILDERは、Windowsのデスクトップまたはスタートメニューから「NEC EXPRESSBUILDER」をクリックして起動します。

オプションまたはダウンロードして作成したEXPRESSBUILDER DVDは、光ディスクドライブにセットするとEXPRESSBUILDERが自動起動します。

起動した画面の右下からバージョンが確認できます。



”Version 7.10-021.04(021)”表示の場合
EXPRESSBUILDER 7.10-021.04となります

■ 16GBメモリボードを新規に取り付ける場合について

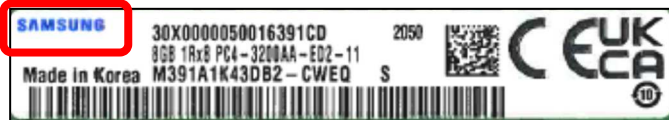
16GB メモリボードにはSamsung社製とMicron Technology社製のものがあります。

メモリボードを3枚以上取り付ける場合は、以下に従って取り付けてください。

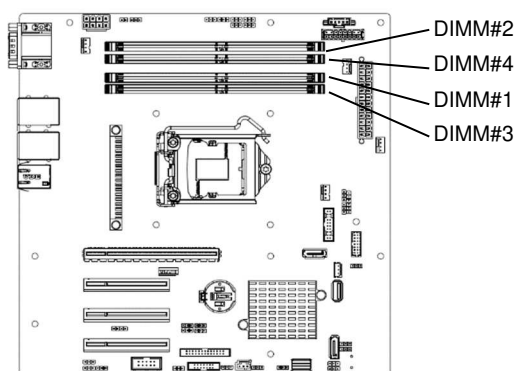
- ・ DIMM#1とDIMM#3に両社のメモリボードを混在して取り付ける場合は、DIMM#1側にSamsung社製、DIMM#3側にMicron Technology社製のメモリボードを取り付けてください。
- ・ DIMM#2とDIMM#4に両社のメモリボードを混在して取り付ける場合は、DIMM#2側にSamsung社製、DIMM#4側にMicron Technology社製のメモリボードを取り付けてください。

メモリボードの社名は、メモリボードに貼られているラベルの表示をご確認ください。

■ Samsung社製



■ Micron Technology社製



■ Express5800/T110k-S, Express5800/T110k メンテナンスガイドの読み替えについて
Express5800/T110k-S, Express5800/T110k メンテナンスガイドに記載の以下の部分を読み替えてください。

1章 保守 → 5. トラブルシューティング → 5.1 電源ONからPOST終了にかけてのトラブル
<メンテナンスガイドの記載>

[?] **電源ケーブルを接続すると、STATUSランプ1/2が点灯する**

→ 本機は、AC電源が供給されてから初期化されるまでの間、STATUSランプ1が緑色に、STATUSランプ2がアンバー色に点灯し、初期化の完了により消灯します。この動作は正常な動作であり、故障ではありません。

<読み替え>

[?] **電源ケーブルを接続すると、STATUSランプ1/2が点灯する**

→ 本機はAC電源が供給されると初期化を開始します。STATUSランプ1, 2は27秒程消灯の後、初期化の最後にはSTATUSランプ1が緑色、STATUSランプ2がアンバー色に2秒程同時に点灯します。初期化が完了すると再び消灯します。
(BIOSセットアップのAC- Linkの設定がPower-On」の場合、初期化が完了してもSTATUSランプ1は点灯したままです)
この動作は正常な動作であり故障ではありません。

<メンテナンスガイドの記載>

(記載なし)

<読み替え>

[?] **POWERスイッチを押してもPowerランプが点灯しない。**

→ 本機は電源コード接続後、初回の電源 ONではPowerスイッチを押した後、Powerランプの点灯まで2秒から12秒程かかります。
また、電源コード接続後、2回目以降の電源ONや再起動では、2秒～12秒程消灯 → 3秒程点灯 → 2秒～12秒程消灯した後点灯します。
この動作は正常な動作であり、故障ではありません。

〔ご注意〕

ここからの注意事項は、本体装置のモデル、BMCファームウェアのリビジョン、BIOSのバージョンにより対象が異なります。ご使用の本体装置のBMCファームウェアのリビジョン、BIOSのバージョンはBIOSセットアップユーティリティーで確認できます。詳細はメンテナンスガイドを参照してください。

目次

1. Express5800/T110k本体装置の注意事項.....	6
2. Express5800/T110k-S本体装置の注意事項.....	10
3. BMCファームウェアのリビジョンが1.16以降の本体装置の注意事項.....	14
4. BMCファームウェアのリビジョンが1.15以前および、BIOSのバージョンがF10以前の本体装置の注意事項.....	14
5. BMCファームウェアのリビジョンが1.12, 1.14, 1.15, 1.16以降の本体装置の注意事項.....	14
6. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09, 1.12, 1.14, 1.15の本体装置の注意事項.....	15
7. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09, 1.12の本体装置の注意事項.....	15
8. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09かつBIOSのバージョンがF04, F05, F06の本体装置の注意事項.....	15
9. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09の本体装置の注意事項.....	15
10. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07のExpress5800/T110k本体装置の注意事項.....	16
11. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06の本体装置の注意事項.....	16
12. BMCファームウェアのリビジョンが1.05の本体装置の注意事項.....	16
13. BIOSのバージョンがF16の本体装置の注意事項.....	17
14. BIOSのバージョンがF09, F10, F11, F12, F13の本体装置の注意事項.....	17
15. BIOSのバージョンがF09, F10, F11の本体装置の注意事項.....	17
16. BIOSのバージョンがF04, F05, F06, F09, F10の本体装置の注意事項.....	17
17. BIOSのバージョンがF04, F05, F06, F09, F10, F11の本体装置の注意事項.....	17
18. BIOSのバージョンがF04, F05, F06の本体装置の注意事項.....	18
19. BIOSのバージョンがF05, F06の本体装置の注意事項.....	19
20. BIOSのバージョンがF04の本体装置の注意事項.....	19

1. Express5800/T110k本体装置の注意事項

■ Express5800/T110kでNVMe SSDとSAS/SATA HDDを混在してご使用になる場合について
Express5800/T110kでN8154-142 2.5型 HDD ケージを使用して、NVMe SSDとSAS/SATA HDDを混在してご使用になる場合、NVMe SSDは、スロット0,1の順に、HDDはスロット4,5の順に取り付けてください。

■ Express5800/T110kで2.5型ハードディスクをオンボードSATA構成でご使用時の注意
Express5800/T110kで2.5型ハードディスクを搭載してソフトウェアRAID構成でご使用の場合、ハードディスクはスロット4,5,6,7の順に搭載されますが、ESMPROやUniversal RAID UtilityなどOS上のユーティリティでは表示されるスロット番号は0,1,2,3の順となります。この場合、ユーティリティ上のスロット番号（0,1,2,3）は実際のハードディスクドライブケージのスロット番号（4,5,6,7）に読み替えてご使用ください。

オンボードSATAを単体構成でご使用の場合、ESMPROで表示されるスロット番号とハードディスクドライブケージのスロット番号が異なることがあります。

接続図については Express5800/T110k ユーザーズガイドをご参照下さい

Express5800/T110k ユーザーズガイド2章 → 1.17.1 → (1) → (c)

■ Express5800/T110k バリュースタイルモデルのサポートオプションについて

Express5800/T110k バリュースタイルモデル(N8100-2953Y/2954Y)は、Express5800/T110kとはサポートオプションが異なります。非サポートオプションは動作保証外であり無償保証の対象外となります。オプション製品をご購入の際は、システム構成ガイドでサポートオプションをご確認ください。


■ Express5800/T110k ユーザーズガイドの読み替えについて

Express5800/T110kのユーザーズガイドに記載の以下の部分を読み替えてください。

1章 概要 → 3. 特徴 → 高性能 → ・ インテル Xeon , Core i3 , Pentium , Celeron プロセッサ搭載
 <ユーザーズガイドの記載> <読み替え>

- N8100-2953Y : Pentium プロセッサ G-6405 (4.1GHz, 4Core) - N8100-2954Y : Xeon プロセッサ E-2314 (2.8GHz, 4Core)	[Express5800/T110k バリュースモデル] - N8100-2953Y : Pentium プロセッサ G-6405 (4.1GHz, 4Core) - N8100-2954Y : Xeon プロセッサ E-2314 (2.8GHz, 4Core)
---	---

1章 概要 → 5. 各部の名称と機能 → 5.5 ランプ表示 → 5.5.1 POWERランプ
 <ユーザーズガイドの記載> <読み替え>

(記載なし)	 <p>電源コード接続後、初回の電源 ON では、Powerスイッチを押した後、点灯まで2秒から12秒程かかります。 また、電源コード接続後、2回目以降の電源ONや再起動では、2秒～12秒程消灯 → 3秒程点灯 → 2秒～12秒程消灯した後、点灯します。</p>
--------	---

1章 概要 → 5. 各部の名称と機能 → 5.5 ランプ表示 → 5.5.2 STATUSランプ1,2
 <ユーザーズガイドの記載> <読み替え>

ハードウェアが正常に動作していると、STATUS ランプ1 は緑色に点灯し、STATUS ランプ2 は消灯します。 STATUS ランプ1 が消灯しているときや、STATUS ランプ2 がアンバー色に点灯または点滅しているときはハードウェアに何らかの異常が起きたことを示します。	POST終了後、ハードウェアが正常に動作している間、STATUS ランプ1 は緑色に点灯し、STATUS ランプ2 は消灯します。 POST終了後、STATUS ランプ1 が消灯しているときや、STATUS ランプ2 がアンバー色に点灯または点滅しているときはハードウェアに何らかの異常が起きたことを示します。
--	--

<ユーザーズガイドの記載>

STATUSランプ1,2の状態		意 味	対処方法
STATUS ランプ1	STATUS ランプ2		
緑色に点灯	消灯	正常な状態です。	—
緑色に点灯	アンバー色に点灯	BMCの初期化中です。	初期化完了（消灯）するまでお待ちください。
消灯	消灯	電源がOFFになっています。	電源をONにしてください。
		POSTエラーが発生しました。	いったん電源をOFFにして、増設オプションの取付けを確認して、再度電源をONしてください。その後のPOSTの画面で何らかのエラーメッセージが表示された場合は、メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。
		DUMPスイッチ（ESMPROを含むNMI）を押したあとのメモリダンプリクエスト中です。 ※ソフトウェア要因のダンプ中のSTATUSランプ1、STATUSランプ2は、前の状態のままです。	ダンプを採取し終わるまでお待ちください。

＜読み替え＞

STATUSランプ1,2の状態		意 味	対処方法
STATUS ランプ1	STATUS ランプ2		
緑色に点灯	消灯	正常な状態です。	—
緑色に点灯	アンバー色に点灯	BMCの初期化の最後です。 電源コードを接続するとBMCの初期化が開始され、27秒程消灯の後、初期化の最後には2秒程同時に点灯します。初期化が完了すると再び消灯します。(BIOSセットアップのAC-Linkの設定が「Power-On」の場合、STATUSランプ1は点灯したままです)	BMCの初期化が完了するまでお待ちください。
消灯	消灯	電源がOFFになっています。	電源をONにしてください。
		BMCの初期化中です。 電源コードを接続するとBMCの初期化が開始され、27秒程消灯の後、初期化の最後にはSTATUSランプ1が緑色、STATUSランプ2がアンバー色に2秒程同時に点灯します。初期化が完了すると再び消灯します。 (BIOSセットアップのAC-Linkの設定が「Power-On」の場合、STATUSランプ1は点灯したままです)	BMCの初期化完了までお待ちください。
		Powerランプが緑色点灯している時は、POST実行中です。	POST終了までお待ちください。 POST終了後STATUSランプ1が緑色に点灯すれば正常な状態です。(BIOSセットアップのAC-Linkの設定が「Power-On」の場合、電源コード接続後初回の電源ONではSTATUSランプ1はPOST実行中でも点灯します)
		POSTエラーが発生しました。	いったん電源をOFFにして、増設オプションの取付けを確認して、再度電源をONしてください。その後のPOSTの画面で何らかのエラーメッセージが表示された場合は、メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。
		DUMPスイッチ (ESMPROを含むNMI) を押したあとのメモリダンプリクエスト中です。 ※ソフトウェア要因のダンプ中のSTATUSランプ1、STATUSランプ2は、前の状態のままです。	ダンプを採取し終わるまでお待ちください。

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧

＜ユーザーズガイドの記載＞ : 記載なし

＜読み替え＞

型名	製品名	PCI				備考
		#1	#2	#3	#4	
N8105-61	グラフィックスアクセラレータ	○	—	—	—	最大1枚まで

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8104-202 100BASE-TXボード

＜ユーザーズガイドの記載＞

＜読み替え＞

(記載なし)	備考
	ブーツ付きLANケーブル使用不可

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8104-203 1000BASE-T接続
ボード (4ch)

<ユーザーズガイドの記載>

<読み替え>

(記載なし)	備考
	N8104-157と合わせて最大2枚まで

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8104-157 10GBASE-T接続基本
ボード (2ch)

<ユーザーズガイドの記載>

型名	製品名	PCI				備考
		#1	#2	#3	#4	
N8104-157	10GBASE-T接続基本 ボード (2ch)	○	○	○	○	LAN増設用 カード形状はPCI Express3.0(x4)

<読み替え>

型名	製品名	PCI				備考
		#1	#2	#3	#4	
N8104-157	10GBASE-T接続基本 ボード (2ch)	—	○	○	○	N8104-203と合わせて最大2枚まで LAN増設用 カード形状はPCI Express3.0(x4)

2章 準備 →1.15 高温環境オプション

<ユーザーズガイドの記載>

<読み替え>

(記載なし)	(追加) ・インテルXeonプロセッサE-2388G搭載モデルでは搭載できません。
--------	--

2章 準備 →1.17.1 内部インターフェースケーブル →(1) ハードディスクドライブへのケーブル接続
→(c) 2.5 型HDD ケージ (N8154-141/-142) の場合
→●マザーボード上のSlim_SAS コネクタから接続する場合(1~4 台)

<ユーザーズガイドの記載>

<読み替え>

Device	SAS/SATA HDD SATA SSD	Device	SATA HDD SATA SSD
--------	--------------------------	--------	----------------------

2章 準備 →1.17.1 内部インターフェースケーブル→(2) バックアップ装置の接続

→(b) SASデバイスを搭載する場合

<ユーザーズガイドの記載>

<読み替え>

ケーブルは専用の内蔵SASケーブル (K410-217(00))を使用します。 SAS コントローラーのPORT0より接続してください。 図内のSASコントローラーのPORT番号 : PORT0	ケーブルは専用の内蔵SASケーブル (K410-449(00))を使用します。 SAS コントローラーのPORT1に接続してください。 図内のSASコントローラーのPORT番号 : PORT1
--	---

2章 準備 →2.2.2 電源コード

<ユーザーズガイドの記載>

<読み替え>

●UPS からの電源供給と本機の ON/OFF を連 動(リンク)させるときは、BIOS の設定を変更し てください。 BIOS セットアップユーティリティの [Chipset] - [PCH-IO Configuration] - [AC-LINK]を 選択し、適切なパラメーターに変更します。	●UPS からの電源供給と本機の ON/OFF を連 動(リンク)させるときは、BIOS の設定を変更し てください。 BIOS セットアップユーティリティの[Server Mgmt] - [AC-LINK]を選択し[Power On]に変更し ます。
---	--

3章 セットアップ →1. 電源のON ＜ユーザーズガイドの記載＞		＜読み替え＞	
3. STATUS ランプ1 が緑色に点滅し、STATUS ランプ2 がアンバー色に点滅しているときは、これらが消灯するまで待ちます。		3. 27秒程後にSTATUS ランプ1 が緑色、STATUS ランプ2 がアンバー色に2秒程同時に点灯します。これらが消灯するまで待ちます。	
4. 前面のPOWER スイッチを押します。POWER ランプが緑色に点灯し、しばらくすると「NEC」ロゴが表示されます。		4. 前面のPOWER スイッチを押します。2秒から12秒程後にPOWER ランプが緑色に点灯します。また、しばらくすると「NEC」ロゴが表示されます。	
4章 付録 →1. 仕様 →製品名称(N8100-2953Y/-2954Y) ＜ユーザーズガイドの記載＞			
Express5800/T110k		Express5800/T110k バリユーモデル	
4章 付録 →1. 仕様 →メモリ(N8100-2953Y/-2954Y) →最大 ＜ユーザーズガイドの記載＞			
128GB(32GBx4枚)		32GB(8GBx4枚)	
4章 付録 →1. 仕様 →補助記憶装置(N8100-2953Y/-2954Y) →ハードディスクドライブ(最大) ＜ユーザーズガイドの記載＞			
3.5型Fixed HDDケージ(N8154-143)選択時：72TB (4x18TB) 2.5型HDDケージ(N8154-141)選択時：480GB SATA VE SSDのみサポート		3.5型Fixed HDDケージ(N8154-143)選択時：8TB (4x2TB) 2.5型HDDケージ(N8154-141)選択時：3.84TB (8x480GB)	
4章 付録 →1. 仕様 →定格電力 (N8100-2953Y/-2954Y) ＜ユーザーズガイドの記載＞			
N8181-177 電源ユニット 選択時：100/200V ～ 8/4A max N8181-183/-184 冗長電源ユニット搭載時：100/200V ～ 7.1/3.4A max x2		N8181-177 電源ユニット 選択時：100/200V ～ 8/4A max	
4章 付録 →1. 仕様 →環境条件 (N8100-2953Y/-2954Y) →動作時 ＜ユーザーズガイドの記載＞			
温度:5～40℃(オプション適用時：5～48℃、構成制限あり)、湿度:10～85%(ただし、結露しないこと)*2		温度:5～40℃、湿度:10～85%(ただし、結露しないこと)	
4章 付録 →1. 仕様 →注釈 (N8100-2953Y/-2954Y) ＜ユーザーズガイドの記載＞			
*2 内蔵LTO 搭載時は10%～80%(ただし、結露しないこと)		注釈の記載なし	
4章 付録 →1. 仕様 →補助記憶装置→ハードディスクドライブ(最大) →2.5型HDDケージ(N8154-141)選択時 ＜ユーザーズガイドの記載＞			
NVMe SSD 3.84TB(2x1.92TB)		NVMe SSD 7.68TB(4x1.92TB)	

2. Express5800/T110k-S本体装置の注意事項

■ N8154-138 増設用2.5型HDDケージご使用時の注意

N8154-138 増設用2.5型HDDケージには温度センサ（HDDBP2 Temp）が搭載されておりますが、本センサを使用しての温度監視は実施しておりません。

ESMPRO/ServerManagerや、BMC管理コンソールで以下のように表示されますが、仕様であり問題ありません。

・ESMPRO/ServerManagerでの表示

「リモート制御」→「センサ情報」→「温度(HDDBP2 Temp)」が「センサ状態の取得に失敗しました」と表示される。

・BMC管理コンソールでの表示

「Disabled Sensor」として登録される。


■ Express5800/T110k-S ユーザーズガイドの読み替えについて

Express5800/T110k-Sのユーザーズガイドに記載の以下の部分を読み替えてください。

1章 概要 → 5. 各部の名称と機能 → 5.5 ランプ表示 → 5.5.1 POWERランプ

＜ユーザーズガイドの記載＞

＜読み替え＞

(記載なし)	 <p>電源コード接続後、初回の電源 ONでは、Powerスイッチを押した後、点灯まで2秒から12秒程かかります。 また、電源コード接続後、2回目以降の電源ONや再起動では、2秒～12秒程消灯 → 3秒程点灯 → 2秒～12秒程消灯した後、点灯します。</p>
--------	---

1章 概要 → 5. 各部の名称と機能 → 5.5 ランプ表示 → 5.5.2 STATUSランプ1,2

＜ユーザーズガイドの記載＞

＜読み替え＞

<p>ハードウェアが正常に動作していると、STATUS ランプ1 は緑色に点灯し、STATUS ランプ2は消灯します。 STATUS ランプ1 が消灯しているときや、STATUS ランプ2 がアンバー色に点灯または点滅しているときはハードウェアに何らかの異常が起きたことを示します。</p>	<p>POST終了後、ハードウェアが正常に動作している間、STATUS ランプ1 は緑色に点灯し、STATUS ランプ2 は消灯します。 POST終了後、STATUS ランプ1 が消灯しているときや、STATUS ランプ2 がアンバー色に点灯または点滅しているときはハードウェアに何らかの異常が起きたことを示します。</p>
---	--

＜ユーザーズガイドの記載＞

STATUSランプ1,2の状態		意 味	対処方法
STATUS ランプ1	STATUS ランプ2		
緑色に点灯	消灯	正常な状態です。	—
緑色に点灯	アンバー色に点灯	BMCの初期化中です。	初期化完了（消灯）するまでお待ちください。
消灯	消灯	電源がOFFになっています。	電源をONにしてください。
		POSTエラーが発生しました。	いったん電源をOFFにして、増設オプションの取付けを確認して、再度電源をONしてください。その後のPOSTの画面で何らかのエラーメッセージが表示された場合は、メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。
		DUMPスイッチ（ESMPROを含むNMI）を押したあとのメモリダンプリクエスト中です。 ※ソフトウェア要因のダンプ中のSTATUSランプ1、STATUSランプ2は、前の状態のままです。	ダンプを採取し終わるまでお待ちください。

＜読み替え＞

STATUSランプ1,2の状態		意 味	対処方法
STATUS ランプ1	STATUS ランプ2		
緑色に点灯	消灯	正常な状態です。	—

緑色に点灯	アンバー色に点灯	BMCの初期化の最後です。 電源コードを接続するとBMCの初期化が開始され、27秒程消灯の後、初期化の最後には2秒程同時に点灯します。初期化が完了すると再び消灯します。(BIOSセットアップのAC-Linkの設定が「Power-On」の場合、STATUSランプ1は点灯したままです)	BMCの初期化が完了するまでお待ちください。
消灯	消灯	電源がOFFになっています。	電源をONにしてください。
		BMCの初期化中です。 電源コードを接続するとBMCの初期化が開始され、27秒程消灯の後、初期化の最後にはSTATUSランプ1が緑色、STATUSランプ2がアンバー色に2秒程同時に点灯します。初期化が完了すると再び消灯します。(BIOSセットアップのAC-Linkの設定が「Power-On」の場合、STATUSランプ1は点灯したままです)	BMCの初期化が完了するまでお待ちください。
		Powerランプが緑色点灯している時は、POST実行中です。	POST終了までお待ちください。 POST終了後STATUSランプ1が緑色に点灯すれば正常な状態です。(BIOSセットアップのAC-Linkの設定が「Power-On」の場合、電源コード接続後初回の電源ONではSTATUSランプ1はPOST実行中でも点灯します)
		POSTエラーが発生しました。	いったん電源をOFFにして、増設オプションの取付けを確認して、再度電源をONしてください。その後のPOSTの画面で何らかのエラーメッセージが表示された場合は、メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。
		DUMPスイッチ (ESMPROを含むNMI) を押したあとのメモリダンプリクエスト中です。 ※ソフトウェア要因のダンプ中のSTATUSランプ1、STATUSランプ2は、前の状態のままです。	ダンプを採取し終わるまでお待ちください。

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧

<ユーザズガイドの記載> : 記載なし

<読み替え>

型名	製品名	PCI				備考
		#1	#2	#3	#4	
N8105-61	グラフィックスアクセラレータ	○	—	—	—	最大1枚まで搭載可能

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8105-57 ビジョンアクセラレータ

<ユーザズガイドの記載>

<読み替え>

備考	備考
冗長電源ユニット[N8181-182]必須 最大1枚まで	冗長電源ユニット[N8181-182]必須 最大1枚まで 搭載できないオプション ・ N8181-152内蔵バッテリーモジュール ・ N8181-153内蔵バッテリーコントロールキット ・ N8181-188 高温環境オプション

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8105-60 AI対応ビジョンアクセラレータ

＜ユーザーズガイドの記載＞						＜読み替え＞	
備考				備考			
冗長電源ユニット[N8181-182]必須 最大1枚まで				冗長電源ユニット[N8181-182]必須 最大1枚まで 搭載できないオプション ・ N8181-152内蔵バッテリーモジュール ・ N8181-153内蔵バッテリーコントロールキット ・ N8181-188 高温環境オプション			

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8104-202 100BASE-TX接続
ボード(2ch)

＜ユーザーズガイドの記載＞						＜読み替え＞	
(記載なし)				備考			
				ブーツ付きLANケーブル使用不可			

2章 準備 →1.9.2 オプションデバイスと取り付けスロット一覧 →N8104-157 10GBASE-T接続基本
ボード (2ch)

＜ユーザーズガイドの記載＞

型名	製品名	PCI				備考
		#1	#2	#3	#4	
N8104-157	10GBASE-T接続基本 ボード (2ch)	○ *2	○ *2	○ *2	○	LAN増設用 N8104-203と合わせて最大2枚まで

＜読み替え＞

型名	製品名	PCI				備考
		#1	#2	#3	#4	
N8104-157	10GBASE-T接続基本 ボード (2ch)	—	○ *2	○ *2	○	LAN増設用 N8104-203と合わせて最大2枚まで

2章 準備 →1.13.4 内蔵バッテリーでの運用時の注意→内蔵バッテリー搭載時の制限

＜ユーザーズガイドの記載＞						＜読み替え＞	
(記載なし)				(追加) N8105-57ビジョンアクセラレータは搭載不可 N8105-60 AIビジョンアクセラレータは搭載不可			

2章 準備 →1.15 高温環境オプション

＜ユーザーズガイドの記載＞						＜読み替え＞	
・ 以下のオプションは搭載できません。 N8154-138 増設用2.5型HDDケージ N8151-105 内蔵RDX(USB) N8181-152 内蔵バッテリーモジュール N8181-153 内蔵バッテリーコントロールキット				・ インテルXeonプロセッサE-2388G搭載モデルでは搭載できません。 ・ 以下のオプションは搭載できません。 N8154-138 増設用2.5型HDDケージ N8151-105 内蔵RDX(USB) N8181-152 内蔵バッテリーモジュール N8181-153 内蔵バッテリーコントロールキット N8105-57 ビジョンアクセラレータ N8105-60 AIビジョンアクセラレータ N8106-019 VMware ESXi ベースキット N8150-1789/-1790 U.3 NVMe SSD N8130-12CP14 バックアップ・UPSパック(RDX)			

2章 準備 →1.17.1 内部インターフェースケーブル →(1) ハードディスクドライブへのケーブル接続
→(b) 2.5 型ハードディスクドライブを増設した場合
→●マザーボード上のSlim SAS コネクタから接続する場合

＜ユーザーズガイドの記載＞						＜読み替え＞	
Device	SAS/SATA HDD SATA SSD			Device	SATA HDD SATA SSD		

2章 準備 →2.2.2 電源コード

<ユーザズガイドの記載>

<読み替え>

●UPS からの電源供給と本機の ON/OFF を連動(リンク)させるときは、BIOS の設定を変更してください。
BIOS セットアップユーティリティの [Chipset] - [PCH-IO Configuration] - [AC-LINK] を選択し、適切なパラメーターに変更します。

●UPS からの電源供給と本機の ON/OFF を連動(リンク)させるときは、BIOS の設定を変更してください。
BIOS セットアップユーティリティの [Server Mgmt] - [AC-LINK] を選択し [Power On] に変更します。

3章 セットアップ →1. 電源のON

<ユーザズガイドの記載>

<読み替え>

3. STATUS ランプ1 が緑色に点滅し、STATUS ランプ2 がアンバー色に点滅しているときは、これらが消灯するまで待ちます。

3. 27秒程後にSTATUS ランプ1 が緑色、STATUS ランプ2 がアンバー色に2秒程同時に点灯します。これらが消灯するまで待ちます。

4. 前面のPOWER スイッチを押します。
POWER ランプが緑色に点灯し、しばらくすると「NEC」ロゴが表示されます。

4. 前面のPOWER スイッチを押します。
2秒から12秒程後にPOWER ランプが緑色に点灯します。また、しばらくすると「NEC」ロゴが表示されます。

3. BMCファームウェアのリビジョンが1.16以降の本体装置の注意事項

■BMC設定のバックアップリストア時の動作

BIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツールを利用時に、リストアが失敗する場合があります。失敗時には、再度同じデータを使ってリストアを実行してください。2回目以降のリストアで成功すれば、リストアは完了しています。本事象は、BMCによる設定項目の反映に時間がかかることがあり、一時的にリストア項目の書き戻しに失敗することが原因です。複数回に分けてリストアすることで、設定をリストアすることが可能です。

4. BMCファームウェアのリビジョンが1.15以前および、BIOSのバージョンがF10以前の本体装置の注意事項

■BIOS SETUPの[Server Mgmt] - [AC-LINK]メニューを[Last State]または[Power On]に設定し、電源コードの接続と連動して電源をONした場合について

STATUSランプ1とSTATUSランプ2が点灯し、以下の不具合が発生する可能性があります。

BMCファームウェア、BIOSを最新にアップデートしてください。

- ・BMCファームウェアが停止した状態に陥り、システムBIOSとの通信ができなくなることにより装置のFRU情報が不正な値(Default string)となったり、システムのID情報を示すUUIDが不正に変更されます。
- ・Windows Server(R)のライセンス認証が認証されていない状態になります。
- ・管理PC用バンドルソフトウェア(ESMPRO/ServerManager等)と連携したりリモート管理機能を正しく利用いただくことができなくなります。
- ・エクスプレス通報サービスやサーバ診断カルテサービスを正しくご利用いただくことができなくなります。
- ・内蔵フラッシュメモリに格納されたEXPRESSBUILDERをご利用できなくなります。

5. BMCファームウェアのリビジョンが1.12, 1.14, 1.15, 1.16以降の本体装置の注意事項

■BMCのShared LAN機能について

Shared LAN機能を使用する場合は、必ずLAN1ポートをネットワークに接続した状態でオフラインツールメニュー(Server Configuration Utility)の[BMC] - [Configuration] - [Network] - [Management LAN]設定でShared LANに設定してください。設定後は60秒待ってからBMCリセットを実施してください。BMCリセット完了後は装置の電源をOFFにして、30秒以上経過してから電源をONにしてください。Shared LAN設定のバックアップ・リストアは、BIOS/BMC Configurationバックアップ・

リストアツールではなく、オフラインツールの[Management LAN]設定で直接再設定し、必ずBMCリセットを実施してください。

Shared LAN設定変更後にBMCリセットを実施しない場合、オフラインツールやBIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツールで設定エラーが発生することがあります。

BIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツールのバージョンにより、Shared LAN設定の対応有無があります。BIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツール v3.03を利用する場合、Shared LAN設定は、オフラインツールの[Management LAN]設定で直接再設定し、必ずBMCリセットを実施してください。

BIOS/BMC Configurationバックアップ・リストアツール v3.04を利用する場合、ツールを使ってバックアップリストアが出来ます。リストア完了後にBMCリセットは必要です

6. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09, 1.12, 1.14, 1.15の本体装置の注意事項

■BMCのShared LAN機能について

Server Configuration Utilityの[BMC] - [Configuration] - [Network]メニューの[Management LAN]設定を工場出荷時のManagement LANからShared BMC LANに変更した後、再度Management LANに設定を変更した場合、同一装置内のLANポートとBMCの通信ができません。

本操作を行った場合は、BMCファームウェアのアップデートをする事で通信が可能となります。

同一リビジョンのアップデートモジュールをREADMEに記載の手順に従って適用し、再設定を実施してください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110053>

■BIOS SETUPのAC-Link設定について

BMC 設定の初期化や BMC ファームウェアをオフラインツールでアップデートした場合、BIOS SETUP の AC-Link 設定が Power On に変更されます。必要に応じて BIOS SETUP の Server Mgmt メニューから設定を変更してください。

7. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09, 1.12の本体装置の注意事項

■Serial Over LANご使用時の注意

Serial Over LANのデータ通信を行っている間は、シリアルポート1（COM1）のデータ受信ができません。シリアルポート1のデータ通信を行うためにはBIOS SETUPの[Advanced]-[Serial Port Console Redirection]でCOM2の [Console Redirection]を[Disabled]に設定し、Serial Over LANでの通信を止めた状態でご使用ください。

8. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09かつBIOSのバージョンがF04, F05, F06の本体装置の注意事項

■BIOS SETUPのLAN Controller機能について

ユーザズガイド、メンテナンスガイドのBIOS SETUPにLAN Controllerの設定項目の記載がありますが、本製品では未サポートです。

9. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07, 1.09の本体装置の注意事項

■電力制御機能について

メンテナンスガイド、ESMPROサーバ管理ガイドにて電力制御機能について記載がありますが、本製品では未サポートです。

・オフラインツール

Server Configuration Utility - ECO

・ESMPRO/ServerManager

リモート制御 - 電力管理 - ECO設定

■マネージメントLANコネクタのランプ表示について

ユーザズガイドのLANコネクタのランプにて、マネージメント専用LANコネクタのSPEEDランプの記載がありますが、本製品では未サポートです。

■BMCのShared LAN機能について

BMCのShared LAN機能は未サポートです。Server Configuration Utilityの[BMC] - [Configuration] - [Network]メニューの[Management LAN]設定で[Shared BMC LAN]は使用できません。

■BMCからの通報機能について

BMCからのSMTP通報機能は未サポートです。Server Configuration Utilityの[BMC] - [Configuration] - [Mail Alert]メニュー、BMC管理コンソールの[設定] - [プラットフォームイベントフィルター]メニュー、[設定] - [SMTP設定]はご利用になれません。

また、[BMC] - [Configuration] - [SNMP Alert]メニューから設定を行う場合、[Alert Level]サブメニューで通報するイベントを確認後、設定を変更しない場合も必ずOKを選択してください。

■N8181-152 内蔵バッテリーモジュール、N8181-153内蔵バッテリーコントロールキットご使用時の注意

N8181-152 内蔵バッテリーモジュール、N8181-153 内蔵バッテリーコントロールキットをご使用の場合、運用中にシステムイベントログに以下のログが登録される場合がありますが、そのまま運用を継続して問題ありません。

ID[296F0201] Battery, Removed, Presence status changed

10. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06, 1.07のExpress5800/T110k本体装置の注意事項

■Express5800/T110kでN8181-178 Fixed電源用補助ファンをご使用について

POST中にファンの回転数が下限値(警告)を下回り、15秒以内に回復するログがシステムイベントログに登録される場合がありますが、そのまま運用を継続して問題ありません。

ファン(回転数)異常：下限値(警告レベル)を下回った

ファン(回転数)回復：下限値(警告レベル)を下回った

11. BMCファームウェアのリビジョンが1.05, 1.06の本体装置の注意事項

■電流の異常イベントについて

装置運用中に、内部の電流の異常と回復がシステムイベントログに誤って登録される場合があります。本体装置の異常を示すものではありませんので、そのまま運用を継続して問題ありません。

なお、電流の異常を示すログが登録され、装置の電源もOFFになる場合は、マザーボードの故障が考えられますので、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に修理を依頼してください。

12. BMCファームウェアのリビジョンが1.05の本体装置の注意事項

■高温環境オプションについて

ユーザーズガイドに高温環境オプションについての記載がありますが、本製品では高温環境オプションは未サポートです。

■BMC管理コンソールの日付と時間設定について

BMC管理コンソールの[設定] - [日付と時間]でNTP/PTPサーバを利用した時刻設定はご利用になれません。

■BMC管理コンソールのSerial Over LAN(SOL)について

BMC管理コンソールの[リモートコンソール] - [Serial Over LAN(SOL)]をFirefox以外のブラウザで起動した場合、キーボード入力をご利用になれません。

■BMC管理コンソールのご使用時の注意

N8181-152/153内蔵バッテリーをご利用でない場合はBMC管理コンソールの[システムインベントリ] - [バッテリー]、[設定] - [バッテリーコントローラ]をご利用になれません。

■OS再起動やシステムリセット時のイベントログ登録について

OS再起動やシステムリセット時に電源ONを示すイベントが登録されます。

■CPU/PCH温度異常時のステータスランプについて

CPU/PCHの温度異常が発生した場合にステータスランプ1とステータスランプ2が交互に点灯します。

13. BIOSのバージョンがF16の本体装置の注意事項

■グラフィックスアクセラレータドライバーの更新について

BIOS F16に含まれるAST2600 UEFI ドライバー更新により、Windows OSに適用されているグラフィックスアクセラレータドライバーの更新が必要です。

※出荷時BIOSがF16の場合についてもドライバー更新が必要となります。

以下のURLを参照しドライバーを更新してください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111622>

14. BIOSのバージョンがF09, F10, F11, F12, F13の本体装置の注意事項

■N8115-41 TPM キット使用時のDUMP(NMI)スイッチの機能について

N8115-41 TPMキットを使用され、BIOSセットアップユーティリティの[Advanced] - [Trusted Computing]メニューの[TPM Support]が[Enabled]に設定されている場合、起動後一定時間（1時間程度）経過しないとDUMP(NMI)スイッチが動作しません。1時間程度待つていただくか、BIOSをバージョンF14以降にアップデートしてください。

15. BIOSのバージョンがF09, F10, F11の本体装置の注意事項

■VMware ESXi 6.x / 7.x ご使用時の注意

'esxcli hardware clock set'コマンドを用いたハードウェアクロック設定を行うことができません。以下の設定を行って運用してください。

1. VMwareを起動する
2. ALT + F1 を入力して root としてログインする
3. viコマンドで boot.cfg ファイルを編集する
vi /bootbank/boot.cfg
4. 矢印キーを使い、"kernelopt="から始まる行の右端にカーソルを移動する
5. "Insert"キーを押下し、カーソルの位置から編集を開始する
6. 以下のように、"rtcEnableTAD=FALSE"のブートオプションを追加する
kernelopt=autoPartition=FALSE rtcEnableTAD=FALSE
7. Esc、:、w、q を入力後、Enterを押下し、編集を終了して変更を保存する
8. ALT + F2 を押下する
9. VMwareを再起動する

再起動後、追加したブートオプションが有効になり、hardware clock setでエラーせずsystem timeの変更がハードウェアクロックに反映されます。

なお、BIOS F12以降を適用した場合は、上記boot.cfgファイルの編集内容を元に戻してください。

16. BIOSのバージョンがF04, F05, F06, F09, F10の本体装置の注意事項

■BIOSバージョンがF10以下でN8181-191 PCI用FANオプションを登載している装置では、

BIOS SETUPの[AC-LINK]メニューを[Stay Off]以外に設定できません。[Stay Off]以外でご使用になる場合は、BIOSをバージョンF11以降にアップデートしてください。

17. BIOSのバージョンがF04, F05, F06, F09, F10, F11の本体装置の注意事項

■システムシャットダウン直後に自動的に電源がONしてしまう場合の対処について

本装置ではシステムシャットダウン直後に自動的に電源がONしてしまう場合があります。

この場合、BIOSセットアップの[Advanced]→[PCI Subsystem]→[Wake On LAN/PME]の設定を「disable」に設定することで、回避することができます。

本設定を行うとWake On LAN機能が使用できません。リモートでシステムの電源をONしたい場合は、BMC管理コンソールやESMPRO/ServerManagerなどのBMCの電源制御機能をご利用くだ

さい。なお、BIOS F12以降を適用した場合は、「Wake On LAN/PME」の設定を元に戻してご使用ください。

・BMC管理コンソールから電源ONする場合

＜事前準備＞

BMC管理コンソールのIPアドレスは192.168.0.120で設定されています。お客様のネットワーク環境にあわせてネットワーク設定を変更した上で、マネージメント専用LANコネクタにケーブルを接続してください。

マネージメントLANのIPアドレスの設定やBMC管理コンソールへの初回ログイン時の初期設定など基本操作については、ユーザーズガイドおよびBMC管理コンソールユーザーズガイドを参照してください。

＜電源ONする手順＞

以下の手順に従って実施願います。

1)BMC管理コンソールへログインします。

2)ブラウザ左部のBMCメニュー内の電源制御を選択します。

3)電源オンにレ点がついていることを確認したら、アクション実行をクリックします。

4)「電源アクション実行中...しばらくお待ちください」を表示後、電源オンします。

※左部のBMCメニュー内のファームウェア情報表示部分が電源OFFから電源ONが表示されたら、電源ONされたことを示します。

■N8181-152 内蔵バッテリーモジュール、N8181-153内蔵バッテリーコントロールキットご使用時の注意

N8181-152 内蔵バッテリーモジュール、N8181-153 内蔵バッテリーコントロールキットをご使用時に、お使いの装置のBIOSバージョン、および構成が表の条件に合致する場合、起動時に以下のC321 POSTエラーが画面に表示されてPOSTが停止します。他のPOSTエラーの表示がなければ、F1キーを押して運用を継続していただいて問題ありません。

POST ERROR C321 System power consumption is out-of-range in BBUs.

BIOSバージョン	プロセッサ	メモリ枚数	ハードディスクドライブ 台数
F11	インテルXeon プロセッサ E-2356G または E-2374G	4枚	SATAハードディスクドライブ 4台 または NVMe SSD 2台
F10			
F09			
F06			
F05			
		3枚以上	

BMC管理コンソール・ESMPRO/ServerManagerを利用したりリモートパワーオン機能をご使用の場合、または、BIOS SETUPの[Server Mgmt] - [AC-LINK]メニューを[Power On]でご使用の場合は、BIOS SETUPの[Server Mgmt] - [POST Error Pause]メニューを [Disabled] の設定でご使用いただき、システム起動の際にはBMC管理コンソール、または、ESMPRO/ServerManagerでIPMIログに前述のC321 POSTエラー以外の異常が登録されていないかご確認ください。

なお、BIOS F12以降を適用した場合は、上記設定を元に戻してご使用ください。

18. BIOSのバージョンがF04, F05, F06の本体装置の注意事項

■メモリ監視、縮退機能について

ユーザーズガイド1章に記載のメモリ縮退機能(障害を起こしたデバイスの論理的な切り離し)は、本製品では未サポートです。

■BIOS SETUPのMemory Retest機能について

ユーザーズガイド、メンテナンスガイドにBIOS SETUPにMemory Retest設定項目の記載がありますが、本製品では未サポートです。

■BIOS SETUPのIntel Trusted Execution Technologyについて

ユーザーズガイド、メンテナンスガイドのBIOS SETUPにIntel Trusted Execution Technology設定項目の記載がありますが、本製品では未サポートです。

■BIOS SETUPのHTTP Support機能について

メンテナンスガイドのBIOS SETUPにIPv4 HTTP Supportの設定項目とIPv6 HTTP Supportの設定項目の記載がありますが、本製品では未サポートです。

■画面表示までの時間について

POWER スイッチを押下した後、画面表示が行われるまでに約50秒時間を要しますが、故障ではありません。

19. BIOSのバージョンがF05, F06の本体装置の注意事項

■BMC管理コンソールのメモリ情報について

BMC管理コンソールの[システムインベントリ] - [メモリ]のメモリ情報のDIMM番号と実際のDIMM番号の情報が異なっています。BMC管理コンソール上のメモリ情報の名前は以下のとおり読み替えてください。

- ・「DIMM1」を「DIMM3」に読み替えてください。
- ・「DIMM2」を「DIMM4」に読み替えてください。
- ・「DIMM3」を「DIMM1」に読み替えてください。
- ・「DIMM4」を「DIMM2」に読み替えてください。

20. BIOSのバージョンがF04の本体装置の注意事項

■BIOS SETUPのMemory C-Error Retest機能について

メンテナンスガイドにBIOS SETUPにMemory Retest設定項目の記載がありますが、本製品では未サポートです。

■BIOS SETUPのMemory C-Error Retest機能について

メンテナンスガイドにBIOS SETUPにMemory Retest設定項目の記載がありますが、本製品では未サポートです。

■POST中のビープ音でのエラー表示について

ユーザズガイド、メンテナンスガイドにPOST中のビープ音でのエラー表示について記載がありますが、本製品では未サポートです。

■メモリ監視、縮退機能について

ユーザズガイド1章に記載の以下の仕様については未サポートです。

- ・メモリ監視機能(エラー訂正/エラー検出)
- ・バスパリティエラー検出

■DUMP(NMI)スイッチの機能について

Windows OSレスで本製品を購入された場合は、装置前面にあるDUMP(NMI)スイッチの機能を有効にするために、WindowsOSをインストール後、再起動を実施してください。

なお、DUMPスイッチにてメモリダンプを採取後、自動で再起動しない場合があります。

この場合は、電源スイッチを押して装置の電源をOFFし、30秒以上経過してから電源をONIにしてください。

■BIOS SETUPのBoot Monitoring機能について

BIOS SETUPの[Server Mgmt] - [Boot Monitoring]メニュー を [Disabled] 以外に設定した時、ハードディスクドライブ以外のデバイスからブートすると「ウォッチドックタイマ タイムアウト発生」を検出することがあります。ハードディスクドライブ以外のデバイスからブートする場合は、本メニューを [Disabled] の設定でお使いください。

■USBキーボードのご使用時の注意

本製品に添付のUSBキーボードを使用せずに運用する場合、N8115-32 BMC拡張ライセンスを無効にするとPOSTでコード8801のエラーが発生しますが、そのまま運用を継続して問題ありません。

■本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：ファーストコンタクトセンター

T E L : 0120-5800-72

受付時間 : 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日を除く)

※番号をお間違えにならないようお確かめのうえお問い合わせください。

～ MEMO ～

